

9 TOWNS TOPICS



豊里

地元の伝統芸能神楽見て学ぶ

豊里小中学校(大場正浩校長、児童生徒489人)の8年生73人が6月16、23の両日、地元で伝わる県指定無形民俗文化財「上町法印神楽」について学びました。
16日は、同保存会の酒井政隆会長を講師に、神楽の歴史や演目の解説などについて受講。23日は、演目「日本武尊」の実演を鑑賞しました。生徒らは、本番と同様の舞台が体育館に準備された中での迫力ある神楽舞に、目を丸くしながら鑑賞していました。

9つのまちのホットな話題をお届けします

新しい友達とかけっこ楽しむ

「東西幼稚園交流会」は6月11日、米山東幼稚園で開かれ、米山東幼稚園の園児6人と米山西幼稚園の園児12人が集い、米山町域に通う園児同士の交流を楽しみました。
同交流会は、両園の園児同士の地域内交流を目的に毎年開催。園児たちは、おやつに米山東幼稚園で採れたスナックエンドウや地域住民から差し入れされたイチゴを食べた後、青空の下、元気いっぱいみんなでかけっこなどをして遊びました。



米山



迫

訓練通じて防災技術を高める

「登米市消防団迫支団地区分団合同訓練」(佐藤光一支団長)は6月13日、長沼ポート場内漕艇場で開かれ、北方と新田地区の消防団員84人が参加しました。
合同訓練は大規模な演習や支団訓練が中止になっている中、防災の基本的な技術の習得と団員同士の連携や意思疎通を目的に実施。参加団員は、放水訓練やトランシーバーを使った伝達訓練、水槽車の取り扱いについて説明を受けるなど、防災技術の向上に努めました。



石越

伝統の踊りを運動会に向けて

「石越音頭の指導」は6月8日、石越中学校(佐々木貴子校長、生徒100人)で開かれ、石越地域婦人会が生徒らに伝統の踊りを教えました。
石越音頭は例年運動会で披露される演目で、6月12日の運動会に向け、生徒らは練習を重ねてきました。当日は、運動会を直前に控え、最終調整として婦人会とともに練習。お手本を見ながら真剣に練習する生徒の姿に、婦人会の指導にも自然と熱が入っていました。

登米町名産スレート加工体験

「祖父母とともにふるさと学習」は6月25日、登米小学校(岩淵達郎校長、児童203人)で開かれ、同小6年の児童29人とその祖父母らがコースター制作を通して、登米町名産品の天然スレートの加工方法を学びました。
児童らは、国選定保存技術者の佐々木信平さんをはじめとした講師たちから、専用の工具で天然スレートを削る作業を体験。児童は出来上がったコースターを眺めながら、「自宅で大事に使いたい」と笑顔を見せました。



登米

作り方学ぶ苗の植え付け体験

子ども農園事業「ポップコーン・サツマイモ植え・田植え体験」(東郷地区コミュニティ推進協議会主催、伊藤幹生会長)は6月12日、東郷地区内で開かれ、同地区の児童と園児42人が参加しました。
子どもたちは、農作物の作り方を教えてもらった後、実際に植え付けを体験。慣れない作業に最初は戸惑いが見られましたが、一つ一つ丁寧に苗を植え付けていました。秋には収穫祭が予定されています。



南方



東和

住んでいる地域の歴史を学ぶ

校外学習「歴史探検『錦織・嵯峨立地区見学』」(後藤あい校長、児童57人)は6月1日、東和町の錦織・嵯峨立地区内で開かれ、同小6年の児童11人が地域の歴史や文化などを学びました。
児童は、錦織地区在住の宮崎禎義さんから説明を受けながら、錦織・嵯峨立地区の歴史ある場所を散策。児童は、普段目にしていない場所の知らなかった歴史を聞き、住んでいる場所や地域の魅力について理解を深めました。



津山

木工品に全国から注目集まる

NHK 連続テレビ小説「おかえりモネ」の放送開始以降、市の木工品に全国から多くの注文が寄せられています。
津山木工センターでは通常の2倍以上の作品を製作。津山木工芸事業協同組合の阿部幸恵さんは「NHK あさイチで取り上げられた矢羽模様の弁当箱は放送終了後10分で在庫切れに。6月は例年の10倍以上の注文が入り、インターネット注文は数カ月待ちの状態です」とうれしい悲鳴を上げていました。

交通安全運動の普及を目指す

石森地区の「交通死亡事故抑止功労表彰」は6月1日、市役所中田庁舎で開かれ、登米市交通安全対策協議会と佐沼警察署から石森コミュニティ運営協議会(渡邊義昭会長)に褒状が贈られました。
同地区は、5月30日に交通事故死亡ゼロ千日を達成。渡邊会長は「これまで、地域、関係団体の協力を得て啓発、啓蒙活動に取り組んできた。引き続き、協力いただきながら交通安全運動の普及に努力していきたい」と述べました。



中田